

第59回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所
るびなす

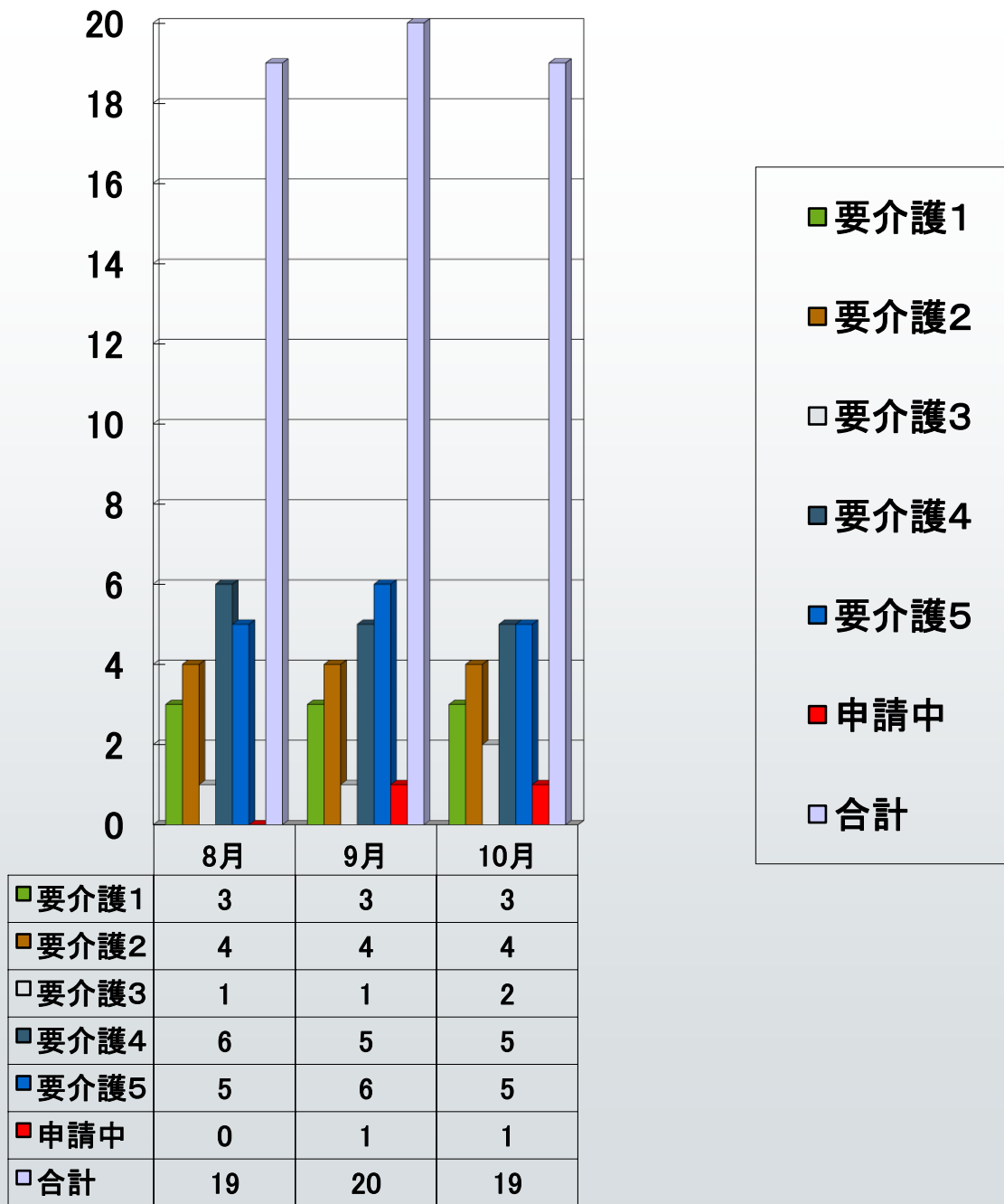
令和5年9月27日

第59回運営推進会議

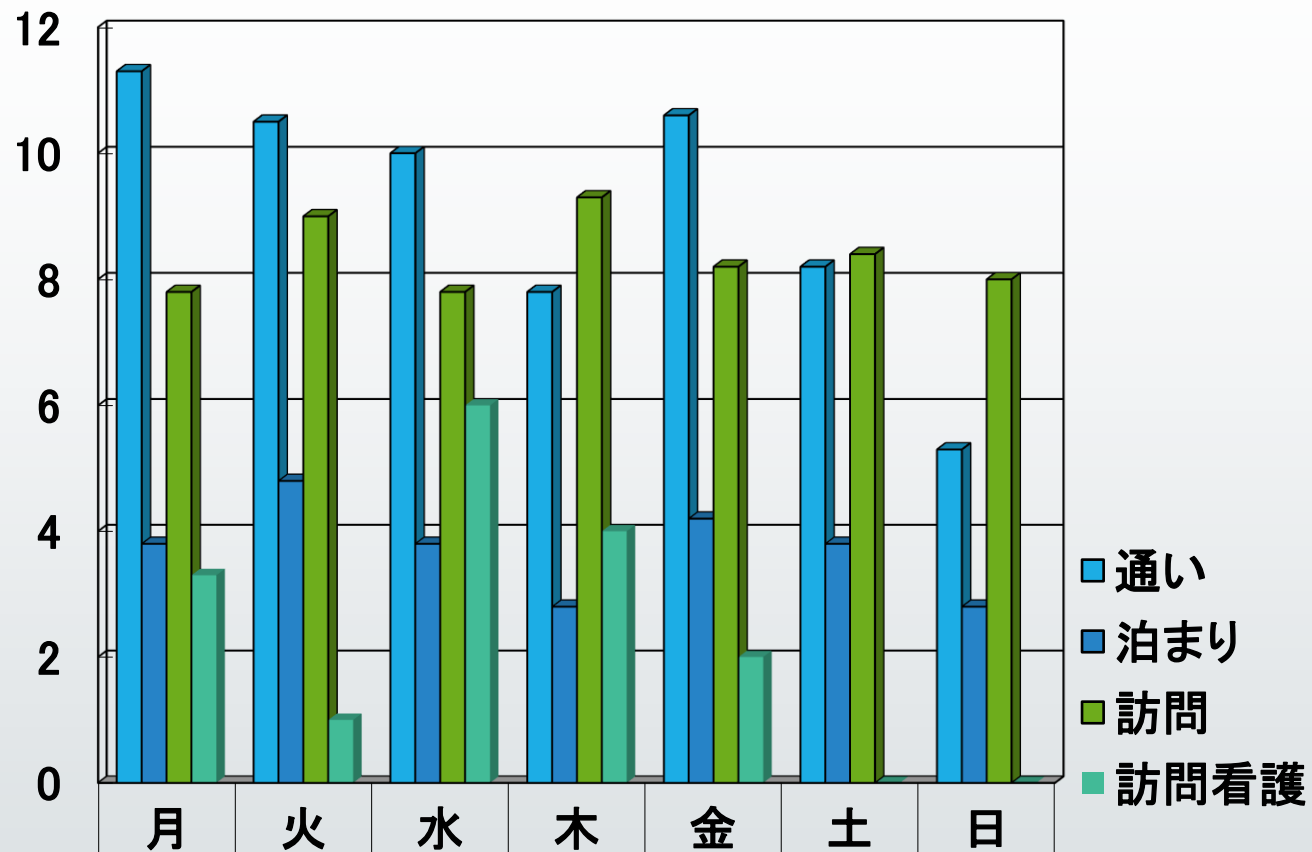
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者の紹介
- 看取りの報告
- 活動報告
- 意見交換

登録利用者数 令和5年8月～令和5年10月

10月
平均介護度 3.26



令和5年9月 曜日別延べ利用者数



| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|
| 通い | 11.3 | 10.5 | 10 | 7.8 | 10.6 | 8.2 | 5.3 |
| 泊まり | 3.8 | 4.8 | 3.8 | 2.8 | 4.2 | 3.8 | 2.8 |
| 訪問 | 7.8 | 9 | 7.8 | 9.3 | 8.2 | 8.4 | 8 |
| 訪問看護 | 3.3 | 1 | 6 | 4 | 2 | 0 | 0 |

第59回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所るぴなす

開催日時：令和5年9月27日(水) 18:00～

出席者：高志2丁目自治会長・目黒様，地域包括支援センター山潟・小石様

ご利用者ご家族・猪浦様，法人代表・斎藤先生，法人総務・物江

通所介護管理者・遠藤，看護小規模管理者・吉井，計画作成担当者・中村

1、ご利用者現況報告

- ・登録利用者数
- ・曜日別利用者数・・・訪問ニーズが高まっている。

小規模多機能は当初通いを中心として始まったが、ニーズに応じて使える所が小規模多機能らしい。そこに訪問看護が加わり、医療的な関わりもできている。

2 新規ご利用者の紹介

3、看取りの報告

- ・ご家族が協力して介護され、医療と連携し、るぴなすへ通ったり泊まったり行き来しながら、最期まで自宅で過ごせた。
- ・心不全があり、むくみにより水疱が多くできていた。在宅酸素、フェントステープを使用していた。何度も危ない時があったが乗り越え、るぴなす祭りで大勢人がいる時に息を引き取られた。

4、活動報告

○行事，日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告

- ・8月...かき氷を作り、あずきなどでおやつを作って食べた。
- ・9月...るぴなす祭り。和太鼓，キッズダンス，吹奏楽に来て頂き楽しんだ。感激して泣いている利用者様もいた。浴衣を着たお子さんや水風船で、お祭りの雰囲気が出ていた。地域のお店と繋がりが出来るよう抽選会ではお店で使える券が当たるようにした。
- ・誕生日のお祝い

5、その他ご意見等

・利用の感想，地域の情報

・認知症は早めにかかりつけ医，専門医への受診が理想的。転倒・骨折し在宅生活できなくなる相談が続いたので大事になる前に。薬も出て来ているが環境整備が大事。早い段階で関係性が作れると良いが、本人もそこまでと思っていない。予防に散歩，趣味活動，生活目標に向かって生きがいつくりできると良い。地域の茶の間は今までコロナでできなかったが、再開した所と止まった所がある。

・一人暮らし，病気で銀行の問題がある。カード・印鑑がわからない、判断できなくなってきたが第三者に預ける事を理解してもらうのが難しい。遠くの家族や、関わらない家族。信頼してもらって相談してもらう事が大事。皆、背景・歴史があるので簡単にはいかない。

どうぞ今後ともご支援ご協力をお願いします。

ケアステーションるぴなす スタッフ一同

